

(旬) ガーデンの安田敦さん

んは、花関係の専門学校と仕事を経て、神奈川県の花壇苗生産農家で3年間の研修を積み、就農して7年と花一筋の人生です。(旬) ガーデンは、敦さんのお父さんが木更津で花屋からスタートし、その後、自社での花壇苗生産を開始しました。敦さんは葉ボタンやサルビア、ペチュニアなどの季節の花壇苗の生産を担当しています。また、栽培の間を見ながらハウスを自分で増設するなど多才な一面を持っています。使い勝手を考えながら建てられるだけでなく、自分でメンテナンスできることも強みです。

敦さんのこだわりは、「購入してくださったお客様が植えた後も長く楽しめる花壇苗を生産すること」です。お客様が購入した後は露地に植えられることを考え、露地でできるだけ丈夫な花壇苗を育てることを心がけています。



(田中)

また、今春は野菜苗に挑戦する予定です。できれば接ぎ木苗の生産にもトライしたいとのこと。これも輪作や土壌消毒が困難なお客様にも長く楽しんでいただきたいという敦さんの気持ちの現れです。「ぜひ、気楽に農場に買いに来てもらいたい」と話す敦さん。敦さんが作った苗を購入したい方、ネットで「富津市 ガーデン」の場所を確認して、買いに行ってみてはいかがでしょうか？

## お客様が長く楽しめる花壇苗を届けたい

富津市<sup>あいのやっ</sup>相野谷 **安田 敦さん**

スーム  
アツフ  
アグリ

## 若い世代に伝えたい 地域の宝 食文化

～君津4市農村生活研究会の食育活動～



太巻き寿司

君津4市農村生活研究会は、生活技術を学び、よりよい農村生活の実現を目的に、昭和37年から活動を続け、50周年を迎えました。

中でもふるさと料理講習会は長い歴史を持つ活動です。若い世代に地域の食文化を伝えるために昭和62年に始まった活動は、早いもので25年の歴史を重ねました。講習会では、地元の高校生と一緒に太巻き寿司作りや、米粉料理の調理実習を行い、地域の宝である食文化に親しんでもらいます。そして食育紙芝居「一杯のお味噌汁」で食の大切さを伝えていきます。高校生は初めて巻く太巻き寿司に悪戦苦闘しながらも、完成した太巻き寿司を見て笑顔があふれます。「おいしい」「家でも作ってみたいな」試食の時には、そんな声を聞くことができました。また、平成16年からは「ちば食育ボランティア」として地域で活躍しています。



太巻き寿司上手に出来たよ！

最近では高校生だけでなく、地域の若手女性農業者の学習会や、国際交流のための郷土料理講習会でも講師を務めました。

「食があふれている時代だからこそ、手作りの良さ、郷土の食文化を若い人たちに伝えたい」そんな思いを込めて、君津4市農村生活研究会は、これからも食育活動を続けていきます。

(上堀内)